

「議会活性化と連動した広報づくりから住民の政治参加をうながすツールに」を目標に読まれる広報紙に結びつけたいと思います。



LINE CUBE SHIBUYAにて

議会広報委員会では町民に読まれる広報紙を目指し、町村議会広報研修会に参加しました。今回は、丘村奈央子氏（インタビュライター）、渡川修一氏（映像講師・映像ディレクター）、平山賢治氏（福岡県大刀洗町議会広報委員長）の3名による講演があり、大刀洗町議会広報においては全国広報コンクールで優秀賞を受賞するなど、広報紙をつくる上では貴重な研修会となりました。

令和7年8月28日

読まれる広報紙に向けて

町村議会広報委員全国研修会（東京都）



木島 真紀 氏
(洲崎)

任期は
令和8年1月1日より
令和10年12月31日まで

人権擁護委員の推薦に同意

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

24日	19日	17日	10日	3日	1日	9月	28日	26日	24日	21日	20日	14日	19日	18日	8月	30日	29日	28日	23日	16日	14日	10日	9日	7月
議会広報常任委員会	第6回議会改革特別委員会	敬老祝賀式	議会広報常任委員会	第3回定例会（9日）	全員協議会	▼	町村議会広報全国研修会（東京都）	第5回議会改革特別委員会	議会運営委員会	奉納さばね山相撲大会	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	第4回議会改革特別委員会	舟形町二十歳の祝賀式	議会運営委員会	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	第3回議会改革特別委員会	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）	令和7年度山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会（東京都）

議会のつぎ

議会だよりふながたの表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問 合 せ：舟形町議会事務局 32-0030
gikai@town.funagata.yamagata.jp

秋晴れの9月27日、舟形ほえみ保育園（園児106名）の運動会が、舟形小学校グラウンドにおいて、三歳児以上の64名参加で開催されました。

（伊藤 廣好 撮影・記）

表紙のつぎ

次回の定例会は12月上旬の予定です。

総務文教常任委員会 所管事務調査報告

各課主要事業の説明

- 期 日：令和7年7月9日（水）
- 調査内容：令和7年度 所管各課の主要事業
 - 教育課
 - （1）小中一貫校へ向けた進め方について
 - （2）縄文の女神プロジェクト事業について
 - （3）部活動地域移行について
 - 健康福祉課
 - （1）第5期舟形町地域福祉計画（R8～R12）について

- 住民税務課(危機管理室)
 - （1）舟形町防災力向上防災資機材整備事業について
- デジタルファースト推進室
 - （1）舟形町デジタル化推進計画について

【所 感】

- 教育課の事業で小・中一貫校の進め方については、児童・生徒の教育環境に配慮し、地域に開かれた学校となる施設の検討に期待する。
- 住民税務課では、購入する資機材の保管場所や数量の確認、機材の操作方法の講習会や点検等を怠らず緊急時に即対応できる管理をすること。
- 健康福祉課では、一人暮らしの高齢者に対する緊急通報システムは、安心して生活できる住環境整備であり、その重要性をもっとアピールすべきと考える。
- デジタルファースト推進室は、デジタル化を推進することで利点は多様に発揮されるが、利用者が操作しやすくすること、セキュリティ対策を充実することにより、一層のサービスの提供ができるような推進計画に期待する。

産業振興常任委員会 所管事務調査報告

各課の主要事業の説明と現地視察

- 期 日：令和7年6月26日（木）
- 調査内容：令和7年度各課の主要事業
 - まちづくり課
 - （1）地域交流施設「ふなぼん」の利用状況
 - （2）地域運営組織と集落支援員の活動
 - （3）地域おこし協力隊新規隊員の紹介
 - 農業振興課、新規就農・女性活躍支援室
 - （1）衛星システム米ブランド化について
 - （2）新規就農・女性活躍支援について
 - 地域整備課
 - （1）災害復旧工事進捗状況
 - （2）災害現場視察



完成した「開墾堰」視察

【所 感】

- 1) 地域交流施設については、一般の方がより利用しやすくなるよう改善されたい。
 - 2) 舟形地区の地域運営組織の集落支援員には常勤の配置を検討すべきと考える。
 - 3) 新規地域おこし協力隊員については、3年後の就農を見据え、関係者連携して支援を構築されたい。
 - 4) 新規就農・女性活躍支援は新規就農者の増加に努められたい。
 - 5) 災害復旧工事の長沢目地区の未作付け地においては来年作付けできるよう早期復旧に尽力されたい。
- また、開墾堰水路は、今後法面崩壊が懸念される。保護シートが必要ないか検討すべきと考える。

総務文教常任委員会、産業振興常任委員会の所管事務調査報告の詳しい内容は右側QRコードでご覧になれます。

